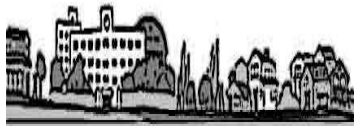




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和3年2月16日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

2月の全校朝会の話から

校長 野瀬 浩司

2月の全校朝会で子どもたちに話をした内容について取り上げます。まず最初に、右のような資料(上下逆さまにして見てください)を示し、勉強や人と接するときなどに意識すると役に立つこと・よいこととして、次の2つを挙げました。



- ①逆の（違う）見方・考え方もする。
- ②今見えていることの「裏」や（自分とは違う立場である）相手の気持ちも考える。

当日使ったプレゼンの一部を、紙面でも分かりやすいように修正して紹介します。

<p>レジ脇に商品が置いてあるのはなぜ？ (3年社会)</p> <p>店としてはたくさん売って、もうけたいからだと思う！</p> <p>買い忘れたお客さんが、もう一度ならばなくてもいいようにするためもあると思う。</p>	<p>見方によってAさんの評価は違う</p> <p>Aさんってすぐにおこるから何とかしてほしい！</p> <p>Aさんがおこるのは、「クラスをもっとよくしたい」という場面だけだよ。</p>	<p>相手の気持ちをよく考えると…</p> <p>日さんのお母さんって感せん者が出たせつてはたらいっていたよね。コロナだいじょうぶ？</p> <p>心配してくれているのかもしれないけど、「学校に来てだいじょうぶ？」と言われていたみたい。</p>
---	---	---

ある学級担任からは、「難しく理解できなかった子もいました」と言われましたが、一応想定内でした。子どもたちが、普段から意識している考え方ではないと思うので、できるだけ分かりやすく、身近にありそうな具体例を示したつもりです。それでも、学級担任のフォローは不可欠です。学校生活の一場で、「全校朝会で、『逆から（相手の気持ちを）考えることが大切』って話あったでしょ。今のがそういうことなんだよ。」などとつなげてほしいと伝えてあります。

大人は、ある現象や出来事について判断や評価する際、表おもてに現れていることだけでなく、様々な視点からのとらえ、背景やそこに至るまでの過程などが大切であることを、経験上、理解しています。また、表面的・一面的な見方による誤解や勘違いで、大失敗したり、相手を傷付けたりする場合があります。子どもたちは、そうした経験が少ないわけですが、上記の見方・考え方を意識するようになれば、経験値も徐々に上がっていきます。

学びを深めたり、よりよい人間関係を築いたりする上でプラスに働く見方・考え方だと思っているので、学級担任の力を借りながら、子どもたちにも浸透させていきたいと考えています。